

全国地質調査業協会連合会 ジオ・ラボ ネットワーク事務局：北海道土質試験協同組合
・北海道土質試験協同組合 ・協同組合土質屋北陸 ・関東土質試験協同組合
・中部土質試験協同組合 ・協同組合関西地盤環境研究センター ・協同組合岡山県土質試験センター
・協同組合島根県土質技術研究センター・協同組合広島県土質試験センター ・宮崎県地質調査業協同組合
なお、記事に関するお問い合わせは各組合へお願いいたします。

活動報告

ジオ・ラボネットワーク設立 10周年 <http://www.geolab-net.com/>

おかげさまでジオ・ラボネットワークは、設立 10 年を経過しました。地盤材料試験のエキスパートとして今後も活発な活動を続けてまいります。

平成 30 年度の主な行事予定を紹介いたします。

- (1) 経営懇談会 6月8日(金) (全国の土質試験協同組合の運営状況及び活動に関する懇談会)
- (2) 技術研修会 7月中旬開催予定 (今年のテーマは、「圧密試験」「改良土」についての研修)
- (3) 土質試験管理者養成講座 (技術研修会と同時期に開催予定)
- (4) 地盤工学研究発表会展示コーナーに出展 7月24日(火)～26日(木) (香川県高松市で開催)
- (5) 全地連「技術フォーラム 2018」高松展示会に出展 9月6日(木)～7日(金)
- (6) 土質試験管理者認定試験 (論文審査・口頭試験) 9月～11月
- (7) 経営懇談会臨時会 10月26日(金) (ジオ・ラボネットワーク活動についての懇談会)

(文責 事務局折笠)

中部土質試験協同組合 [mail to : info@geolabo-chubu.com](mailto:info@geolabo-chubu.com)

●公益社団法人地盤工学会中部支部から感謝状を受賞

地盤工学会中部支部は、昭和 32 年(1957 年)10 月 18 日に日本国有鉄道中部支社の大会議室にて約 300 名の出席者を得て設立総会を行って以来、平成 30 年(2018 年)4 月で、60 周年を迎えています。

そこで、2018 年 4 月 20 日の第 62 回中部支部通常総会後に、60 周年式典と祝賀会が開催されました。なお、式典には地盤工学会会長の村上 章先生、60 周年実行委員長の八嶋 厚先生、支部長の酒井 俊典先生が参加されました。盛大な式典の中で、中部支部の発展に貢献されたとのことで、当組合を含む 5 団体と 4 名の個人に特別表彰がなされ、受賞してきました。なお、団体では一般社団法人中部地質調査業協会も受賞されました。また、個人では宇野 尚雄先生(岐阜大名誉教授)、浅岡 顕先生(名大名誉教授)、中井 照夫先生(名工大名誉教授)、本城 勇介先生(岐阜大名誉教授)方が受賞されました。

今後も、地盤工学会中部支部を通じて、社会に貢献して参ります。



60 周年記念式典において受賞された団体と個人の皆さま

ジオ・ラボ ネットワーク通信 2018.5 第56号

●中部土質試験協同組合の平成30年度事業計画(案)の発表会を開催

当組合では、4月第1週の金曜日に、職員・パート職員の全員参加で、1年の事業計画発表を行っています。今年は、4月6日(金)に開催しました。内容は、辞令配布、H29年度の経営状況概要、そして、平成30年度の事業計画(案)(注：通常総会後に成案)、技術部の運営方針などを紹介し、今期の業績計画達成を祈念します。その後、1年の労をねぎらって、軽餐で懇親会を行いました。今年も継続して、頑張りますので、暖かいご支援のほどお願いいたします。(文責：坪田邦治)

協同組合関西地盤環境研究センター

mail to : info@ks-dositu.or.jp

●若手技術者室内土質試験体験会開催

若手技術者室内土質試験体験会(第1回)を4月19日(木)・4月20日(金)に開催致しました。当日は11名の組合員技術者の方々に参加頂きました。

尚、体験会のスケジュールは下記の通りです。

・1日目

- 09:30~10:00 開催のあいさつ・自己紹介
- 10:00~10:50 施設見学
- 10:50~11:00 休憩
- 11:00~12:00 不攪乱試料の押出し及び観察体験
- 12:00~13:15 昼休憩
- 13:15~17:30 物理試験実習

・2日目

- 09:30~12:00 力学試験実習
- 12:00~13:15 昼休憩
- 13:15~16:00 データー整理
- 16:00~17:00 参加者の希望する試験を体験する。
- 17:00~17:30 閉会のあいさつ

又、第2回を5月17日(木)・5月18日(金)に予定しております。

今後とも当センターではいろいろな研修会・見学会・講演会等を開催していきますので、皆様方のご参加をお待ちしております。

(文責：森 辰義)

協同組合広島県土質試験センター

mail to : office@hiroshima-soil.jp

(1)室内土質試験見学会を開催します

昨年度開催の見学会が好評で「是非今年も！」という声に押されて、下記の通り組合員限定で見学会を開催することになりました。来年度以降は組合員以外にも声をかけていこうと考えています。

- ・開催日時：平成30年5月16日(水曜日)13:30~17:00
- ・開催場所：広島県土質試験センター
- ・内容：力学試験・物理試験
- ・定員：15名程度

(2)当組合の第36回通常総会を開催します

- ・開催日時：平成30年5月25日(金曜日)15:30~17:00
- ・開催場所：ひろしま国際ホテル(広島市中区立町)

(文責：村田 明)

北陸新幹線現場見学会参加報告

協同組合土質屋北陸

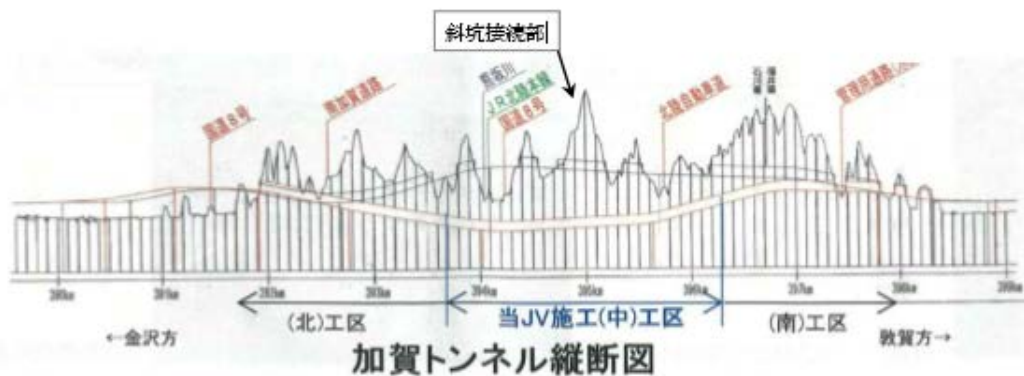
mail to : info@doshitsuya.or.jp

「北陸新幹線、加賀トンネル（中）他」の現場見学会参加報告（平成30年2月20日）

北陸新幹線の金沢・敦賀間は平成34年度に開業予定です。加賀トンネルの現場の見学会(平成30年1月20日)に参加しました。大変興味深く、勉強になったので報告します。

加賀トンネルは石川県加賀市と福井県あわら市を結ぶ全長5,460mの長大トンネルです。トンネルは3つの工区に分かれて発注されており、この内、見学を行ったのはトンネル中央の中工区です。

図は加賀トンネル縦断図です。当初、当該区間は複数のトンネル部と明かり部で計画されていましたが、維持管理を踏まえた計画変更により1本の長大トンネルになったとのことです。



施工区間の地質は細坪泥岩層と呼ばれる新第三紀中新世の泥岩が主体で、見学時も切羽で泥岩を確認することができました。泥岩の一軸圧縮強度は5~20MN/m²程度です。破碎帯付近においては強度が低く、スレーキング指数が高い(NEXCO 基準において浸水崩壊度 D)傾向にあり、試験では試料が2分で完全に溶けてしまう程度です。したがって、湧水が発生した場合の土砂化や泥濘化によって切羽の不安定化や施工性の悪化、泥水の処理の問題などに繋がるため、慎重な施工を行っているとのことでした。

斜坑接続部施工はまず、対象工区のはぼ中間地点に、トンネル本坑に接続するための工事用斜坑の施工から始められました。斜坑の掘削が本坑に達した後、金沢側、敦賀側へ交互に少しずつ本坑を掘削し、十分なスペースを確保してから、両側へ同時に切羽を進める計画(NATM 機械掘削方式)となっています。なお、掘削は自由断面掘削機を用いて行われています。

本坑と斜坑の接続部分はT字路となります。また、斜坑は幅員が6.6mと狭く、縦断勾配が12.5%と急です。通常であれば切羽から発生した掘削ずりはダンプトラックにより坑外へ搬出しますが、上記の条件から安全を最優先に考えて、ベルトコンベアによる搬出に変更されたとのことです。したがって、掘削ずりは切羽から斜坑の手前までダンプトラックで運搬し、斜坑の手前でクラッシュランによって粉碎し、ベルトコンベアで坑外へ搬出する流れとなっています。(文責：江守達弥)